犬山ロータリークラブ社会奉仕委員会事業計画

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　犬山ロータリークラブ

日比野清正

皆さん、こんにちは。

本年度、犬山クラブで社会奉仕委員長を務めさせていただく日比野清正です。よろしくお願いいたします。

　それでは、本年度の社会奉仕委員会の事業計画を発表させていただきます。犬山クラブ大島会長の方針にもあるように「奉仕」と「親睦」を柱にして、いかに我々ロータリアンがその地域、社会に合った活動をすることが大切であって、それが地域密着になるようにもう一度原点に戻って「アイ　サーブ」の精神で社会に奉仕できるように次の事業を進めていきます。

継続事業

1. 在宅要介護者の支援事業

　　犬山市、扶桑町の寝たきり高齢者の方に対して慰問品（大判タオル）を贈呈して民生委員の方を通して、届けていただく。

1. 治安活動関係者に日頃の感謝を表す事業

犬山警察署、犬山消防本部、丹羽広域事務組合消防本部の方と共に、日頃あまり日の当たらない処で頑張ってみえる交通当番（緑のおばさん）の方に対して感謝の意を表す。

1. 交通安全運動への協力

春、秋年末に開催される県民運動「シートベルト全席装着」を啓発して交通安全に対する意識の高揚に努めていく。

1. 犬山シティーマラソンへの協力

第２９回犬山国際友好マラソンに新入会員４名程出走していただいて大会を盛り上げていきます。

単年度事業

1. 「地域先輩の出前授業」の実施

職業奉仕委員会、新世代委員会、広報委員会の協力を得て、犬山市、扶桑町の中学生のための「働くとは何か」としてスピーチを行い、交流を深め将来の地域社会の発展に繋げていくようにロータリー活動をアピールする。

その内容は犬山・扶桑の中学校６校が行っていますキャリア教育をより充実させようという事とこの地域の発展に貢献しようということを目的としています。

具体的には

1. 生徒が自分自身の将来の方向を決める手助けとなるようにする。
2. ＲＣ会員が日頃お世話になっている地域社会に恩返しの意味を込め、自分自身の経験や、職場倫理を子供たちに伝えることができる奉仕の場を提供する。
3. ＲＣ会員のスピーチにより、この地域に対し子供たちが興味を持ち、将来その能力を充分に発揮し、この地域の発展に繋げる。

以上のことを考えています。

対象は犬山・扶桑の中学校６校の１年生又は２年生で、全体で２７クラス程度になります。ですから、それだけの人数の「話す人（スピーカー）」とそれを「サポートする人」が必要になってきます。

テーマは「働くとは何か」としました。地域の専門職業人として犬山ＲＣ会員自らの創業精神や経験、職業感を生徒に向かって自由に、そしてこの地域に興味を持ってもらうように話していただこうと思っています。

授業方法は各学校で違いますが、１クラス単位またはスピーカーの職業別に希望者を編成替えし、クラス人数程度でスピーチしていきます。

時間は全体で１時間４５分予定しています。スピーチで２０分～３０分程度、残り時間はスピーカーの一方通行にならないように、生徒とのＱ＆Ａで考えています。また生徒とのコミュニケーションを深めるために給食を一緒に食べる時間もとりました。また父兄の傍聴も学校によっては了解を得ていまして、地域社会へのロータリーの活動のＰＲに努めたいと思っています。

以上を本年度の事業計画として発表させていただきました。どうも有難うございました。